

事務局 植田公民館 (六三)三四六七



六月二十九日(日)、植田公民館講堂でスポーツスタッキングを開催しました。

スポーツスタッキングは、九個又は十二個のプラスチック製のカップを、決められた形に積み上げ、元に戻すまでの時間(千分の一秒単位)を競います。年齢・性別を問わず、誰でも夢中で楽しめるスポーツです。

今回は、九個・十二個のカップを使う二種目の練習後に、記録会を行いました。

参加者には、全国大会入賞の子どもやリレーでは緊張で泣きそうになる子どもがいましたが、皆真剣にやりながらも楽しんでいました。

**スポーツスタッキングに挑戦しよう!**

勿来地区推進協議会

事務局 常磐公民館 (四三)一三〇五



「青少年育成に関する標語」のコンテストを実施しました。

常磐地区の小・中学校十校から、五十七名の応募があり、審査の結果、小・中学校それぞれの入賞者十二人に、賞状と記念品を贈呈しました。

また、入賞した作品を広く周知するため、ポスターを作成し、小・中学校や地域の関係機関に掲示をしていただきました。

このほか、本年度は、登校時の「愛の一声運動」や総会の開催、夏祭りの巡回のほか、コロナ禍で中止していた小学校の新生一年生への「給食支援ボランティア」を復活し実施しました。

**青少年育成に関する標語**

常磐地区推進協議会

福島県青少年育成市民会議

**福島県青少年育成市民会議会長表彰 受賞者紹介(敬称略)**

- 「青少年指導者の部」
  - 上村 直人 (いわき市少年補導員連絡協議会)
  - 渡辺 良一 (いわき市少年補導員連絡協議会)
  - 根本 弘 (いわき市少年補導員連絡協議会)
- 「青少年健全育成功労者の部」
  - 草野 栄治 (いわき市子ども会育成会連絡協議会)
  - 鈴木 弥生 (いわき中央地区少年警察ボランティア協会)

**市民会議総会・表彰**

令和七年度いわき市青少年育成市民会議総会を、五月二十一日(水)に文化センターで開催しました。

今年度の努力目標や事業計画等を決定したほか、本市の青少年健全育成に寄与された個人三人に対し、表彰状の授与を行いました。

【市民会議表彰受賞者紹介(敬称略)】

- 田子 是人 (小名浜)
- 高梨 栄子 (内郷)
- 櫻澤 徳一 (好間)

**第十八回いわき市青少年育成大会**

八月三十一日(日)文化センターにて、市教育委員会と市少年補導員連絡協議会との三者共催により、開催しました。

小学生によるいじめ根絶作文の発表や中学生の弁論発表では、小・中学生が自身の体験から得た学びや気づき等を力強く発表し、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、青少年の地域活動を積極的に支援するため、中・高校生八人の青少年ボランティアを受け入れ運営しました。

記念講演では、特定非営利活動法人日本コンピュート振興協会の根本雅昭氏に「青少年を取り巻くインターネット・現状と対策」と題し、家庭でのスマートフォンやSNS等との向き合い方について、実例を交えながら説明していただきました。

いわき市青少年育成市民会議

**いわきメディア 指導員事業**

市民会議では、青少年とその保護者に対し、インターネット等のメディアの正しい使い方や危険性を啓発することを目的に、「いわきメディア指導員」を養成し、学校・公民館・地域で行う講習会等に派遣しています。子どもたちを有罪情報や犯罪被害等から守るため、どうぞご活用ください。

【お問い合わせ先】  
生涯学習課青少年係  
電話 (二二)七五五八

**第四十七回 少年の主張福島県大会**

九月二十五日(木)喜多方プラザ文化センターにて、少年の主張福島県大会が開催されました。

本市からは、湯本第二中学校の椎名和人さん、四倉中学校の門馬実央莉さんが出場し、優良賞を受賞されました。

当日の発表動画が、下記の二次元コードから視聴できますので、ご覧ください。

**令和七年度編集委員名簿**

委員長	内郷	馬目	成子
副委員長	四倉	鈴木	廣美
委員	遠野	三戸	まゆみ
委員	小川	碓川	秀一
委員	好間	吉田	兼光
委員	三和	笹越	友一
委員	田人	油座	広絵
委員	川前	猪狩	文夫
委員	久之浜	石川	弘子
委員	平	吉田	公男
委員	小名浜	橋本	雅欣
委員	勿来	蛭田	道生
委員	常磐	森	道子

編集発行

いわき市青少年育成市民会議  
事務局  
いわき市教育委員会事務局  
生涯学習課  
千九七〇-八〇二六  
いわき市平字堂根町四一八  
いわき市役所東分庁舎四階  
電話(二二)七五五八

QRコード



**～生かそう、きずな。未来のために!～**

事務局 内郷公民館 (二八)二九七四



**伝統工芸『遠野和紙』を学ぶ**

七月一日(火)、御厩小学校にて四年生四十三人が、地域の伝統工芸である遠野和紙について学びました。小学校の理科室に漉き船を用意して、伝統工芸遠野和紙・楮保存会の講師の指導のもと、一人ひとり、葉書サイズの紙を二回漉きました。

紙漉き後は教室へ戻り、紙の原料となる楮の栽培や繊維を叩いて細かくする作業など、紙を漉くまでの一連の工程について、理解を深めました。

初めての体験で、試行錯誤の取組みでしたが、笑顔あふれる充実した時間を過ごすことが出来ました。

内郷地区推進協議会

事務局 四倉公民館 (三三)二九二〇



**朝のあいさつ運動**

本協議会では、八月二十七日(水)、四倉中学校・四倉小学校・大浦小学校の校門前で、「朝のあいさつ運動」を行いました。

例年、二学期の始業式当日に行っていました。学校より、夏休みが明けた直後より、学校生活に慣れ、「あいさつ運動」があることを周知してから行ってほしいとの要望があり、始業式から二日後の実施となりました。

当日は、会員三十五人で、三校を分担しました。校門で登校して来る子どもたちと「おはようございます。」のあいさつを元気に交わし合い、大人も子どもも笑顔になりました。

四倉地区推進協議会

事務局 上遠野公民館 (八九)二〇五九



**遠野わくわくキッズ 子ども食堂**

八月六日(水)と十一日(月)は上遠野公民館、二十日(水)は入遠野公民館を会場に、子ども食堂を開催し、延べ二十八人の遠野小学校の児童が参加しました。

午前中は、青少年ボランティアの学生たちのサポートを受けながら、夏休みの宿題やものづくりに取り組んだり、地区婦人会の昼食準備の手伝いを行いました。

昼食は、地区婦人会の方々調理したカレーライスに参加者全員で食べ、世代を超えた交流を深めるとともに、夏休みの楽しい思い出を作ることができました。

遠野地区推進協議会

事務局 小川公民館 (八三二二一六八)



八月三日(日)、小川郷駅周辺において「おがわ七夕まつり」を開催しました。季節の行事を通して、世代間の交流を深め地域のつながりを強めようと令和四年から始まったこの行事も四年目を迎え、今年も地元商工会による縁日コーナー・出店・小川地区の子どもじゃんがら・大人のじゃんがら・チャダンス披露などの催しが行われました。また、小川郷駅前には八本の竹が用意され、地区の子どもたち約六百人が事前に願い事を記入した短冊をみんなで飾りつけました。駅周辺は色とりどりの短冊が風になびき、華やいだ夏の一日となりました。

小川地区推進協議会  
**おがわ七夕まつり**

事務局 好間公民館 (三六二〇五〇)



七月二十五日(金)、好間地区にある大和田自然農園さんにご協力をいただき、好間地区の小・中学生とその保護者、総勢三十三人でブルーベリー狩り体験を行いました。子どもたちはブルーベリーの収穫方法や品種についての説明を聞いた後、農園へ移動してブルーベリーの摘み取りを楽しみました。どの木のブルーベリーが美味しいか食べ比べをしたり、「色の濃いほうが美味しい！」と自分の発見を周囲へ共有したり、それぞれが自分なりの楽しみ方を見つけて楽しく活動することができました。

好間地区推進協議会  
**おやいブルーベリー狩り**

事務局 三和公民館 (八六三二〇四)



十月四日(土)、三和ふれあい館を会場に、三和小学校児童十二人が参加して「みーわん体験隊」特別講座「伝えたい『渡戸の獅子舞』」を開催しました。福島県重要無形民俗文化財に指定されている「渡戸の獅子舞」の保存・継承に携わる方々を講師に迎え、獅子舞の歴史や継承活動の実態等について話を聞き、獅子舞体験を行いました。獅子頭や笛、太鼓など本物の道具に触れた子どもたちは、みな感動し、伝統文化の奥深さやそれを支える地域の人々の思いを知るなど、大変貴重な体験となりました。

三和地区推進協議会  
**伝えたい『渡戸の獅子舞』**

事務局 田人公民館 (六九二二二六)



七月二十七日(日)、田人ふれあい館にて田人小・中学生、保護者や地域の方々など約六十人で、田人チャレンジ教室を開催しました。午前中は、全員で布用ペンやクレヨンを使って「オリジナルTシャツ」を作りました。お昼は夏にピッタリの焼きそばやフランクフルトなどの「屋台風ご飯」を保護者の方に作っていただき、お腹一杯食べました。午後は、「川遊び」「射的ゲーム」「ハーバリウムボールペン作り」に分かれて活動し、みんな思い思いの夏を満喫しました。

田人地区推進協議会  
**田人チャレンジ教室**

事務局 川前公民館 (八四二〇〇三)



九月七日(日)川前公民館において、川前地区体育協会が主催し本協議会が後援した「第七十八回親善スポーツ大会」が行われました。当日は年齢を問わず気軽に楽しめる「ニュースポーツ」が混ざって競技を楽しんでいました。川前地区では現在、地区内全ての小・中学校が閉校しており、青少年と顔を合わせて交流する機会がありませんが、これからも今回のような行事を通して、地域住民と青少年のふれあいの場を作っていくことができると考えています。

川前地区推進協議会  
**スポーツを通して住民とのふれあい**

事務局 久之浜公民館 (八二二二六五)



十一月二十二日(土)、地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館和室にて、三十五人が参加し、「本はともだち」を開催しました。昨年までは、地域の方々から子どもたちへ本の読み聞かせをしていましたが、今年は久之浜一小の図書委員の子どもたちが、地域の方々、同級生の学年の方への読み聞かせを行いました。また、DVD鑑賞や本のしおり、クリスマスカード作り、豆本作りにも挑戦し、笑顔あふれる充実した一日を過ごしました。是非、来年も子どもたちの読み聞かせを期待したいと思います。

久之浜・大久地区推進協議会  
**小学生から地域の方々へ読み聞かせ**

事務局 中央公民館 (二二二四三二)



八月四日(月)、飯野支部では小学三〜六年生二十三人が参加して、日本一規模の国際空港である「成田空港」と「こもれび森のイバライド」で移動学習を実施しました。「成田空港」では、搭乗手続き場所や滑走路、第一〜第三ターミナルなど様々な施設を見学し空港の広さや大きさ、さらには翼を広げ、世界各国に向けて離陸する飛行機に見入っていました。また、「森のイバライド」では、広大な敷地の中の多くの遊具で遊ぶとともに、アンケートに答え、オリジナルノベルティをプレゼントされ楽しく充実した移動学習となりました。

平地区推進協議会  
**小学生夏休み移動学習**

事務局 小名浜公民館 (五四一八九〇)



玉川支部では毎年、夏休みに体験型イベントを開催しています。今年は玉川会館と玉川中央公園を利用して「手作り飛行機を飛ばそう」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちと保護者合わせて二十四人が参加しました。初めに講師の「いわき紙飛行機を飛ばす会」の方から模型飛行機の作り方や飛ばし方を教わり、思い思いの飛行機作りに挑戦しました。完成後は公園に移動し、飛行滞空時間を競い合い、最後に表彰式を行いました。子どもたちにとって楽しく有意義な一日となりました。ご協力いただいた「いわき紙飛行機を飛ばす会」や保護者の皆さんに感謝申し上げます。

小名浜地区推進協議会  
**手作り飛行機を飛ばそう**